

校長室だより

3月【弥生（やよい）】 27号

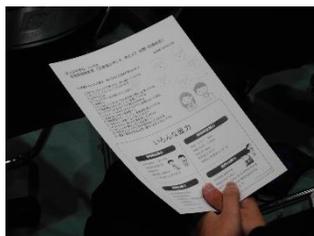
生駒市立緑ヶ丘中学校 校長 滝澤治生

前号でもお話ししましたが、本日3月11日は東日本大震災が発生した日です。震災発生から15年となります。今一度、各学級でも先生や皆さん同士で「忘れないこと」と「伝えること」の時間を取ってくださいね。

そして、3年生の皆さんにとっては卒業式予行の日でもあります。今日・明日の2日間、皆さんの中学校生活の集大成がこの2日間に凝縮されるのかなとも思います。有終の美を飾り、後輩たちに最後のたくましい背中を見せてあげてください。

◇ 性教育授業を実施しました

3月9日(月)、1・3年生を対象とした性教育授業を実施しました。3年生は3時間めに、1年生は6時間めに、体育館にて授業を行いました。今年度も助産師の井田さんを講師としてお招きし、それぞれの学年の発達段階に応じて、3年生は「性感染症」、「デートDV」について、1年生は「二次性徴」、「性についての正しい知識」、「LGBTQ(多様性)」などについて学びました。自分も他人も大切な存在であること、困ったときには相談することなどの重要性を再確認できましたね。



少しくらい失敗してもいい

ひとりひとりが奇跡的な存在です

◇ 3年生を送る会を実施しました

3月10日(火)、生徒会役員の皆さんが中心となって「3年生を送る会」が実施されました。大いに盛り上がった全員参加のクイズ大会。後輩からの部活動動画メッセージ、華やいだ雰囲気を作り出してくれた吹奏楽部の演奏。翌日の卒業式への気持ちを高めてくれた後輩からの言葉。そして先輩として1・2年生全員に対して語り掛けることができた最後の言葉。みんなにとって、充実した素晴らしい時間となりました。生徒会のみなさん、そして、出演してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

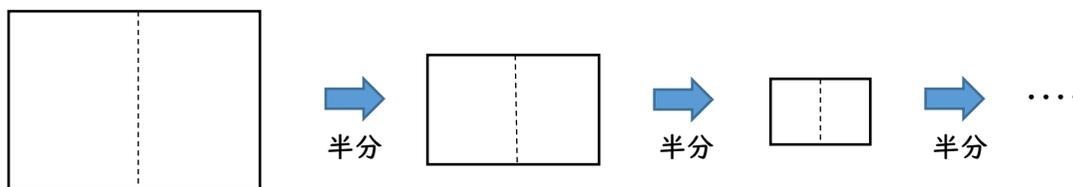
break time

黄金比と白銀比(シルバー比)

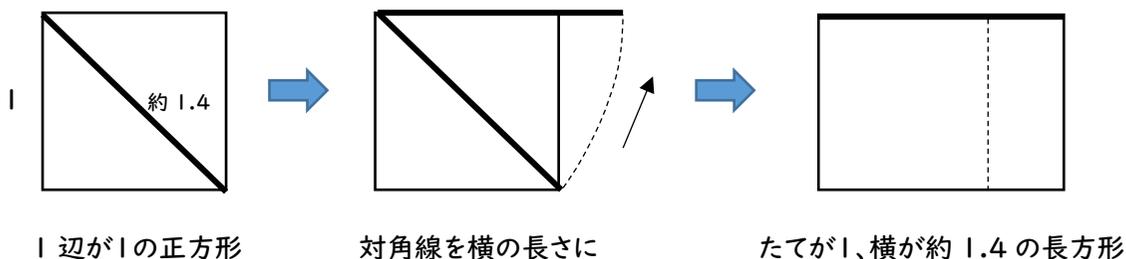
美しさを感じるバランスとして、5:8という黄金比を紹介しました。美術作品や建造物のデザインなど、その中に黄金比がかくされているというお話でしたね。今回は、「白銀比(シルバー比)」について紹介したいと思います。

みなさんは紙の大きさの仕組みは知っていますか。よく使われる紙の大きさの基準は、A判とB判という2つの系列です。A判は国際基準、B判は日本独自の企画です。A0(ゼロ)判、B0判という原紙から始まって、それらを半分にしたものがA1(イチ)判、B1判、さらに半分にすると、A2判、B2判という感じですね。ちなみに、この校長室だよりは、B4判という大きさです。

これらA判・B判の長方形の紙がたいへん機能的なのは、半分にすると元の長方形と同じ形であるということです。(たての長さ:横の長さが一定である)



そして、この長方形のたての長さとの横の長さの比が「白銀比(シルバー比)」とよばれています。このたての長さを1とすると、横の長さは、1辺が1の正方形の対角線の長さになります。(3年生の皆さんは、この長さが $\sqrt{2}$ であることは習いましたね。1・2年生の皆さんは、約1.4だととらえてください)



◇ 黄金比 美しさにつながる 5:8 という比

◇ 白銀比 半分にしても同じ形をたもつ機能的な長方形 たて:横 = 1:1.4 ($1:\sqrt{2}$)